

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期	VOD閲覧
ビジネス・エコノミクス要論		Z 202	1 単位	1 学期	学内・学外
Essentials of Business Economics					
科目分野		課程領域			
経済学		ビジネスマネジメント専門科目			
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー			
山田 英二	-	メールアポイントにて随時			

関連している科目(履修推奨科目)

グローバルビジネス特論		

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

本講座は、ビジネスを理解する上で不可欠な経済学の基礎を学習する。ビジネスを取り巻く環境は大きくまた急速に変化している今日、環境の変化を読み解き的確に対応策を高めることが出来るかどうかで企業の存亡が左右されるとも過言ではない。本講座では、環境の変化を読み解くのに有用な経済学の考え方を、ビジネスという文脈に照らして理解することを狙いとしている。従って、所謂経済学を網羅的、体系的に学習することは本講座の目的ではない。

ビジネスに直結する経済学の基本的な考え方を厳選し、毎回それらの概念について現実社会の出来事と関係づけながら議論して行く。特に、世界経済の流れや日本経済のあり方、市場経済と外部性(環境問題やCSR)、金融政策、エージェンシー理論、取引理論、ゲーム理論、行動経済学など、ビジネスパーソンとして必要不可欠な経済学の基礎知識を取り扱う。

到達(修得)目標

経済学の基本概念の理解とビジネスへの応用技術の修得

受講対象者

全てのビジネスパーソン

履修上の注意事項やアドバイス

質問票を配布し、回答を講義開始前までに提出する。
 毎回、講義の終わりに復習テストを実施する。
 最終日に、ファイナルテストを実施する。

- ※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。
- ※ 担当する教員は実務家教員とする。
- ※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プラクティカム

	イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1	独自コンテンツの講義・ディスカッション	講義 ディスカッション	PPTなど 当日配布予定
2	質問票を配布 (回答を講義開始前までに提出すること)	質問票	配布
3	毎回、講義の終わりに復習テストを実施 (10分程度を予定)	復習テスト	
4	第8回講義の時に、ファイナルテストを実施 (45分程度を予定)	ファイナルテスト	

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席・受講態度	30%	毎回、事務局より出席簿を準備する。
提出物、講義中の貢献度	40%	質問票を配布し、回答を講義開始前までに提出する。
ファイナルテスト	30%	毎回、講義の終わりに復習テストを実施する。
合計	100%	最終日に、ファイナルテストを実施する。

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	「入門ビジネスエコノミクス」 早稲田大学商学部ビジネスエコノミクス研究会著 (中央経済社)	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	「マンキュー入門経済学」 グレゴリー・マンキュー 著 (東洋経済) 「経済古典は役に立つ」 竹中平蔵 著 (光文社新書) 「古典で読み解く現代経済」 池田信夫 著 (PHPビジネス新書) 「戦略的思考の技術」 梶井厚志 著 (中公新書) 「組織の経済学入門」 菊澤研宗 著 (有斐閣) 「行動経済学」 友野典男 著 (光文社新書)	

参考URL
適宜紹介予定

※内容・講師の担当回に変更を加える場合がある。

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	ビジネスを動かす基本原理 市場メカニズムとその問題点 (需要と供給、価格、外部性、公共財)	テキストChapter1,2,3を読み、別途配布する質問票への回答を準備する。	山田	180分
	イベント	ミニプレゼンテーション(質問票に基づく) / ディスカッション		
3.4	政府の介入(ケインズ経済学とその後) 組織の経済学(エージェンシー理論、取引理論など)	テキストChapter5,6,7を読み、別途配布する質問票への回答を準備する。	山田	180分
	イベント	ミニプレゼンテーション(質問票に基づく) / ディスカッション		
5.6	新しい経済学 ゲーム理論(ナッシュ均衡、メカニズムデザイン) 行動経済学(2つの思考、プロスペクト理論、メンタル会計)	参考文献を読み、別途配布する質問票への回答を準備する。	山田	180分
	イベント	ディスカッション		
7.8	世界のマクロトレンド (大分岐と大収斂) 日本のマクロトレンド (日本的経営の系譜と未来への課題) ファイナルテスト	テキストChapter4,8,9,10を読み、別途配布する質問票への回答を準備する。	山田	180分
	イベント	各自ケース課題に取り組む / ディスカッション		

※ 講義日程は、学事ポータル内の講義日程表をご参照ください。

※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。

※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。